

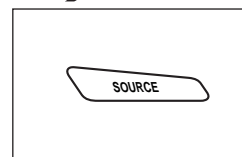
サウンドソースをカセットテープ (TAPE) にす

SOURCE ボタンを押して、“TAPE” に切り替える。

カセットテープの再生が始まります。

お知らせ

カセットテープが挿入されていないときは、TAPEモードに切り替わりません。



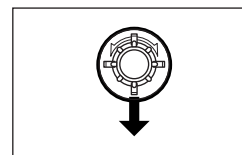
演奏面を切り替える

D.J エンコーダーを下に倒して、◀▶ (PRG) を押す。

● 押すごとに、カセットテープの演奏面が次のように切り替わります。

▶ PLAY ▶ (上面) ◀ PLAY ◀ (下面)

● テープの終端になると、自動的に演奏面を切り替えて再生します。オートリバースシステム



* リモコンでは PRG/■ ボタンを押します。

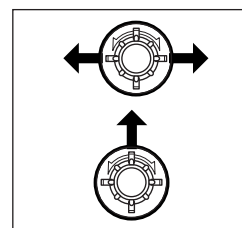
巻戻し / 早送りをする

D.J エンコーダーを左右に倒して、TRACK ◀◀ または TRACK ▶▶ を押す。

◀ (TRACK ◀◀): 巻戻しする (REW)。テープの先頭になると自動的に再生が始まります。

▶ (TRACK ▶▶): 早送りする (FF)。テープの終端になると自動的に演奏面が切り替わり、再生が始まります。

巻き戻し / 早送りを解除したいときは、D.J エンコーダーを■の方に倒します。



* リモコンでは PRG/■ ボタンを押します。

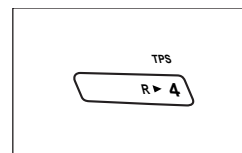
聴きたい曲を頭出しする

TPS

TPS (Tape Program Sensor: テープ プログラム センサー) を “ON” にしておくと、曲間の無音部分を検出して、曲の頭出しができます。 [初期設定: OFF]

① 操作パネルの TPS ボタンを押す。

ボタンを押すごとに、TPSが “ON/OFF” します。



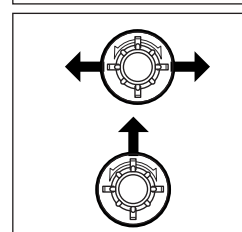
② D.J エンコーダーを左右に倒して TRACK ◀◀ または TRACK ▶▶ を押し、選曲する。

◀ (TRACK ◀◀): テープを巻戻して、現在再生している曲の頭へ戻る。押すごとに、前の曲を頭出しする。(最大8曲まで)

● 押した回数分、曲が前に戻ります。

▶ (TRACK ▶▶): テープを早送りして、次の曲を頭出しする。(最大9曲まで)

● 押した回数分、曲を次に送ります。



* リモコンでは PRG/■ ボタンを押します。

お知らせ

- 次のような場合、TPSが正常にはたらかないことがあります。故障ではありません。
 - カセットテープの曲間の無音部分が4秒未満のとき。
 - 曲中に特にレベルの低いところや無音部分があるとき。
- 巻き戻し / 早送りや曲の頭出しは、D.J エンコーダーを回して操作できます。(P.51参照)

使いかた

カセットテープ